

おぢか



こうみんかん



平成28年
12月12日
第121号

町はクリスマス、その後に続くお正月の準備で賑わっていますが皆さん一年を振り返ってどんな年でしたか？
すぐそこまで酉年が来ているのに人、鳥のインフルエンザが流行しているようです。まだまだ行事がありますが体調に気をつけて頑張りましょう。

すつてくる広場でみんなでもちつきをしました！

12月4日(日)、離島開発総合センターにおいて「第34回すつてくる広場」を開催しました。当日は80名以上の子ども達に加えて各地区の婦人会、育成会のみなさんが集まってくれました。



↑雨にも風にも負けずがんばってもちをつくことができました！

開始早々雨が降ってしまったので急遽テントの中でもちつきを行うことになり、できたおもちは町民ホールの中で丸めました。もちつきが終わると、みなさんに婦人会特製の雑煮が振る舞われました。雨の中大変でしたが今年も無事もちつきをやり遂げることができました！



↑みんなで作ったおもちが入った雑煮は一段とおしかったです！

婦人学級、熟年大学を開催しました！

11月から12月の間、公民館では計3回の婦人学級、熟年大学を開催しました。
11月15日(火)には小学校において熟年大学「昔遊び交流」が行われました。小学校の1年生と熟年大学のみなさんで一緒に遊んだり、給食を食べることができました。
11月30日(水)には町民ホールにおいて婦人学級「フラワーアレンジメント教室」が行われました。町内の講師の方の指導の下、みなさん立派な作品を作ることができました。
12月7日(水)は婦人学級・熟年大学合同で「スクエアステップ教室」を行いました。
みなさんのご参加本当にありがとうございました！



→自慢の作品と記念撮影。

→音楽に合わせてステップ♪



←昔遊び交流では他にもけん玉やコマ回しをしました。

図書館から新刊図書の紹介

【一般書】

- ◆韓流経営LINE
- ◆一生お金に困らない生き方
- ◆城主になった女 井伊直虎
- ◆北海道が危ない！
- ◆ここまで変わった日本史教科書
- ◆腰痛・脊柱管狭窄症と坐骨神経痛を治すコツがわかる本
- ◆今若者が危ない性感染症
- ◆世界のエリートがやっている最高の休息法
- ◆鎗と人間ービーブル缶から戦艦までー
- ◆もつと使える！ジップロックで暮らし上手
- ◆「揚げない」揚げもの
- ◆季節のごちそう 島マルシェ！
- ◆3倍釣るためのチヌ(クダイ)釣り術
- ◆強父論
- ◆ハゲ川柳
- ◆友の墓の上で ～怪異名所巡り(8)～
- ◆何様
- ◆江戸を造った男
- ◆罪の声
- ◆ホームズ四世
- ◆東京會館とわたし(上:旧館)(下:新館)
- ◆ラヴィアンローズ
- ◆美しい距離
- ◆メ切本
- ◆ミスター・メルセデス(上・下)
- ◆ゴールドフィンチ(全4巻)

[NewsPicks 取材班]
[心屋仁之助]
[梓澤 要]
[砂澤 陣]
[高橋 秀樹(他)]

[石 和久]
[久賀谷 亮]
[ジョナサン・ウォルドマン]

[石原 洋子]

[阿川佐和子]
[ツル多はげます会]

[赤川 次郎]

[朝井 リョウ]

[伊東 潤]

[塩田 武士]

[新堂 冬樹]

[辻村 深月]

[村山 由佳]

[山崎ナオコーラ]

[スティーヴン・キング]

[ドナ・タート]

＝お知らせ＝

1月4日(水)～7日(土)の4日間
図書館で、本を借りられた方(中学生以上)に、

ポチ袋 進呈！！



☆しおり作り教室
(小学生以上)
1月5日(金)
午後1時半～

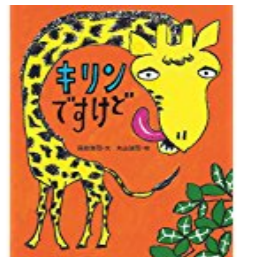


【児童書】

- ★わたしのスポットライト [林 真理子]
- ★いい人ランキング [吉野 万理子]
- ★ダニーの学校大革命 [ラッセル・オスファテール]
- ★ブーツをはいたキティのおはなし [ピアトリクス・ポター]
- ★くらべた・しらべた ひみつのゴキブリ図鑑 [盛口 満]
- ★子どものうちに知っておきたい！おしゃれ障害 [岡村理栄子]
- ★暗号学 ～歴史・世界の暗号から つくり方まで～ [稲葉 茂勝]

【絵本】

- ★キリンですけど
- ★チロルくんの りんごの木
- ★どんぐりむらの だいくさん
- ★ピリンちゃんの もちがっせん
- ★プーさんとであつた日
- ★やきそば ばんばん



遊遊句抄

兼題 初冬(はつふゆ) 浅漬 自由題

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------|---------------------------------|----|--------------------------------|----|---------------------------|----|-------------------------------|-----|---------------|----|------------------------------|-----|--------------------------------|----|---------------|----|--------------|------------|----|
| カラフルな婆の浅漬日本一 姜リリ | マロン後風呂の湯沁みる初冬の夜 | バリバリと浅漬かむや酒のあて 老人も猫も目をとじ日向ぼこ | 利石 | 山茶花や命ほろほろこぼれけり 咲き初めし花柊の香を抱く | 一穂 | 初冬の山紅に鳥の声 老優の浅漬を噛む小津映画 | 月歩 | 店番の猫愛想なく冬はじめ 浅漬や貧者にありし五分の贅 | 値賀助 | 浅漬を食べたき夫の機嫌とり | 静帆 | 幼な子の初冬目覚め大あくび 妻たちの反乱兆す初冬と | 虫砂男 | 母は子の寝息に合わす冬はじめ 養生の吾にも勤労感謝の日 | 紫紅 | ひとり言聞く人もなく初時雨 | 香松 | 初冬や旅の荷物を軽くして | 細草の紅一面に初冬野 | 松月 |
|---------------------|-----------------|---------------------------------|----|--------------------------------|----|---------------------------|----|-------------------------------|-----|---------------|----|------------------------------|-----|--------------------------------|----|---------------|----|--------------|------------|----|

『第34回 少年の主張発表大会』発表原稿紹介

11月12日（土）に開催された「第34回少年の主張発表大会」。おぢか新聞平成28年12月号の最優秀受賞作品紹介に合わせて、公民館だよりでも優秀・入選作品を紹介しています。今回紹介するのは小学生の部の作品です。子どもたちの主張に是非、耳を傾けてください。

小学校の部 入選作品 題：「あったか言葉とちくちく言葉」

小値賀小学校5年 濱田 朔羅（はまだ さくら）

新聞やニュースを見ると、毎日たくさんの事件がおきています。重症のけがを負った人もいれば、残念ながら亡くなってしまっている人もいます。

自分たちの身の回りを見まわすと、意外に身近なところに、様々な凶器があります。

包丁やナイフ、カッター、彫刻刀……。使い方を間違えれば、だれでも持っているえんぴつでさえも、凶器になってしまいます。

でも、もう一つ、忘れてはいけない凶器があります。それは、わたしたちの最も身近にあり、だれでも簡単に使うことができるもの。「言葉」です。

「言葉」には、形はありません。それなのに、相手の心をズタズタに切りさいてしまうことだってあります。

わたしは、身の回りの「言葉」について注意して聞いてみました。

すると、たくさんの「凶器」となる言葉がありました。

ちくちく言葉と呼びます。

「ばか」「じゃま」「うるさい」「うざい」……。こういう言葉を使う時人は、どんな表情をしているのでしょうか。

不思議なことに、笑いながら言っている人が多いのです。

みんな、相手を傷つけるつもりなどなく、遊びの中で、心に突き刺さる言葉を自然と口にしているのです。

わたしも、以前こんな体験をしたことがあります。

学校のパソコンでローマ字を打っていた時のことです。友達が

「『じゃ』ってどう打つの」と聞いてきました。

私はふざけて言っているのかと思って

「そんなのもわからんと？」と言ってしまいました。すると、友達は

「なんで、そがん言うよ。さくらさんはわかるやろけど。」と怒ってしまいました。

わたしの価値観で言った言葉が、相手にとってはちくちく言葉となっていたのです。

しかし、言葉は使い方によっては、薬にもなります。

傷ついた心をいやすこともできます。

がんばろうとする気持ちをふくらませることもできます。

これを、あったか言葉と呼びます。

わたしの学級では、道徳の時間に「言われたい言葉」という紙を書きました。

その中には、「ありがとう」「すごいね」「その調子」「やればできる」といった心をいやす言葉が、四十個以上集まりました。

そんな心をいやすしてくれる言葉を、もっと使いたいと思いました。

さっそく実践してみました。わたしは、サッカー部に入っています。パスが繋がらない時、いつもだったら、

「もう、なんでよわくするとよ！」と、強く言ってしまうところを、今回は、

「ドンマイ、ドンマイ。もう少し強くパスしてね。」と言ってみました。

すると、どんどんパスが良くなってきたような気がしました。

自分の思いを伝えるには、言い方にも気をつけなければならないことを改めて感じました。

みなさんも、一度、身の回りにどんな言葉が飛び交っているのか注意して聞いてみてください。

何気なく「ばか」「じゃま」「うるさい」「うざい」といった言葉を口にしている人はいないでしょうか。

言葉はわたしたちにとって最も身近な凶器でもあります。しかし、正しく使えば、友達やたくさんの人々の心をいやし、元気を倍増させる薬にもなります。だからこそ、決して使い方を間違えてはいけないのです。



小学生の部 優秀作品 題：「大好きな小値賀島」

小値賀小学校6年 近藤 花音（こんどうかのん）

『動物や、自然がいっぱい、大好きだ』

私は小値賀島が大好きです。私が好きなところは三つあります。

一つ目は小値賀の自然です。小値賀島には大きくて立派な松の木や、花などがたくさんあります。私は花などの自然を見ることが好きなので身近に自然があるのはいいなと思います。きれいな花を見てみると、いやな気持ちになっていても自然とおだやかな気分になってくれます。多いきくて立派な松の木を見るとさわやかな気分になります。他の地域に行ったら、小値賀島のような場所はあまりないと思います。なので私は、他の地域に行っても帰りたいなと思うことがあります。また、大きな松の木や花だけではなく海も素敵だと思います。とくに小値賀の海はとともきれいだと思います。夏になると海水浴に行く人がたくさんいます。とうめいでひんやりしていて、観光客の方々も楽しそうにしていました。

二つ目は人です。小値賀の人々はとても優しいと思います。話しかけてくれる人がいたり、登校中にあいさつをするとあいさつを返したりしてくれます。そんな時、私はうれしいなと思います。知らない人でも私に笑顔で話しかけてくださるのでとてもやさしい人だなと感じます。

三つ目は生き物です。私の家では夏になるとセミの鳴き声が聞こえてきます。それも少しだけではなく、たくさん聞こえてくるのです。毎日、朝早くから鳴くので私の目覚まし時計になります。そして、一日中鳴いています。夜はとても静かになります。最近では夜になると秋の虫の鳴き声が聞こえてきます。だんだんと秋になってきたのかなと、ときどき思います。

野崎島にはシカがたくさんいます。夏に開かれる野崎島のキャンプでは、シカや自然にふれあうことができます。また、旧野首教会という世界遺産候補の建物もあります。私はキャンプに参加したことがなく、野崎島に行ったことはありませんが、機会があったら、野崎のシカや野首教会を見てみたいです。

そしてもう一つ気づいたことがあります。それは、小値賀で飼われているたくさんの牛達のことです。遠足の途中やドライブ中によく見かける小値賀産の子牛達が、ブランド牛になることがあることを初めて知ったときはびっくりしましたが、考えてみるとすごいことだなと思いました。

今年、6年生のみんなで「小値賀子ども景観カレンダー作り」に取り組みました。この活動でみんなが撮影した場所や人々、動植物などを見たり、友だちの意見を聞いたりして、私は改めて小値賀島のよさや、他の場所にはない素敵などがあることに気づきました。カレンダー作りは大変でしたが、毎日見ている場所でも、角度を変えるとちがって見えることも新しい発見でした。みんなのコメントを読むと、みんなが自慢したい理由やみどころが書いてあり、行ってみたいと思いました。また、その写真を選んだ友達の気持ちも知ることができました。

私はこの小値賀島にいて本当によかったと思います。これからは、この小値賀島の自然を守るためにゴミは持ち帰るなど自分にできることをやっていきたいです。また、小値賀島の一人として、自分から元気にあいさつできるようになりたいです。私はあいさつすることが苦手なので、はずかしがらずにできるよう登下校中に大きな声であいさつすることを心がけます。

